

おおま 議会だより

大間町健康福祉センター
大間町スキャリ

令和6年5月1日発行 No.121

主な内容 3月定例会

- P2～P3 第1回定例会
- P4～P7 一般質問
- P8 全員協議会・特別委員会
- P9 議会のうごき・寄付金について
- P10 三ヶ町村国要望・視察研修・編集後記



【発行】青森県大間町議会

【編集】議会広報編集委員会

〒039-4692 青森県下北郡大間町大字大間字奥戸下道 20-4 電話 0175-37-3029

第1回 3月定例会

令和6年第1回定例会を3月7日に開会し、
3月15日に閉会しました。
本議会に提案された議案22件はすべて原案のとおり
承認、可決、同意しました。

令和6年度 当初予算

一般会計

歳入歳出とも44億
4,441万円となり、
前年度比12億7,7
47万円、22.3%
減。

歳出の主なるもの

総務費

○財産管理費で、庁舎
リース料9,978万
ふるさと応援基金積立
金600万円、水産振
興基金積立金3,00
0万円。
○企画費で、大函丸指
定管理料1億6,50
0万円、下北地域広域
行政事務組合負担金
5,794万円。
○原子力発電所対策費
で、視察研修等に係る
旅費1,826万円。
○電子計算費で、自治

民生費

○大間町健康福祉セン
ター指定管理料3,5
64万円。
○下北地域広域行政事
務組合負担金1,61
3万円。
○社会福祉法人大間町
社会福祉協議会補助金
2,470万円。
○後期高齢者医療療養
給付費負担金4,63
9万円。
○障害福祉サービス費
等給付費1億2,87
0万円。
○国民健康保険特別会
計、後期高齢者医療特

衛生費

別会計及び介護保険特
別会計繰出金合わせて
1億9,479万円。
○大間保育園運営費及
び児童手当合わせて1
億1,948万円。
○うみの子保育園指定
管理料7,308万円。
○下北医療センター負
担金1,444万円。
○各種検診及び予防接
種委託料合わせて2,
047万円。
○環境衛生費で、下北
地域広域行政事務組合
負担金5,646万円。
○一般廃棄物収集運搬
及び施設等業務委託料
4,759万円。
○車輛購入費1,82
9万円。
○下北地域広域行政事
務組合負担金9,21
6万円。
○大間町水道事業会計
負担金926万円。

農林水産業費

○繁殖センター費で、
飼料費等合わせて3,
108万円。
○大間町繁殖育成セン
ター管理業務委託料
1,651万円。
○鳥獣被害対策連携業
務委託料1,750万
円。
○大間町水産振興事業
費補助金3,650万
円。
○地域水産物供給基盤
整備事業負担金・漁港
施設機能強化事業負担
金・漁港施設負担金合
わせて1,520万円。
○警備・清掃・雑役業
務委託料1,712万
円。

商工費

○小規模経営改善普及
及び商工振興事業補助
金1,905万円。
○ブルーマリンフェス
ティバル企画運営委託
料2,360万円。

土木費

○融資対策事業貸付金
1,300万円。
○海峡保養センター・
養老センター指定管理
料1,560万円。
○道路維持補修工事及
び改良工事等合わせて
9,800万円。
○町営住宅根田内団地
建替工事9,460万
円。
○大間町下水道事業会
計負担金1億5,02
7万円。

消防費

○下北地域広域行政事
務組合負担金2億7,
514万円。
○大間町消防団事務委
託料2,917万円。

教育費

○スクールバス運行業
務委託料1,080万
円。
○大間町立公民館解体
工事1,774万円。

公債費

○元金4億6,795万円、利子2,480万円の当該年度支払見込額を計上。

諸支出金

○大間病院会計負担金2億4,847万円。
○予備費2,000万円。

国民健康保険特別会計

歳入歳出それぞれ7億7,790万円の前年度比1,914万円、2.52%増となる。

後期高齢者医療特別会計

歳入歳出それぞれ6,869万円前年度比1,173万円、20.6%増となる。

介護保険特別会計

歳入歳出それぞれ6億6,276万円前年

度比416万円、0.63%減となる。

水道事業会計

○収益的収入及び支出の水道事業収益1億6,763万円。

○資本的収入及び支出の資本的収入2億4,389万円、資本的支出3億3,088万円。

※資本的収入が資本的支出に対して不足する額8,698万円は内部留保資金で補填する。

※企業債及び一時借入金限度額1億3,400万円。

※議会の議決を経なければ流用することができない経費、職員給与費2,072万円、たな卸資産購入限度額は1,000万円とした。

条例の廃止

○大間町立公民館の老朽化に伴い、令和6年度において解体予定となっており、令和6年

3月31日をもって閉館するため、当該条例の廃止。

条例の一部改正

○会計年度任用職員の勤勉手当について支給可能となることに伴い、大間町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正。

○地方税法の一部改正に伴い、特別災害による被害者に対する町税減免の特別措置に関する条例の一部改正。

○地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部改正に基づき、大間町手数料徴収条例の一部改正。

○子育て世帯の負担軽減を図るため、対象年齢の引き上げを行うことに伴い、大間町子育て応援医療費給付条例の一部改正。

○青森県ひとり親家庭等医療費給付条例の一

部改正に基づき、大間町ひとり親家庭等医療費給付条例の一部改正。

○介護保険事業における「第9期事業計画」策定に伴い、大間町介護保険条例の一部改正。

専決処分

○除排雪経費及び財源調整の予算措置。

大間町固定資産評価審査委員会委員

再任



中嶋 正学 氏



小濱 年高 氏

令和5年度補正予算

一般会計

歳入歳出それぞれ2,368万円追加し、歳入歳出の総額63億7,462万円とした。

介護保険特別会計

歳入歳出それぞれ2,453万円減額し、歳入歳出の総額6億4,170万円とした。

国民健康保険特別会計

歳入歳出それぞれ6,817万円追加し、歳入歳出の総額8億2,693万円とした。

下水道事業特別会計

歳入歳出それぞれ109万円追加し、歳入歳出の総額2億5,303万円とした。

後期高齢者医療特別会計

歳入歳出それぞれ569万円を追加し、歳入歳出の総額6,266万円とした。

大間・函館航路フェリー大函丸

指定管理者 株式会社 津軽海峡フェリー
※令和6年4月1日より5年間、指定管理者として指定する。



傳法 厚史 議員

質問時間 30分

ゴミの収集、清掃について

大間町では、法律に基づき大間町廃棄物の処理及び清掃に関する条例により、ゴミの収集は各町内ごとにゴミ箱を設置し、その管理は町内会で行っています。

しかし、分別が不十分で収集されないゴミが出たり、ゴミ箱が汚くなっていることが見られています。ゴミ箱の清掃は、町内会で当番で行っていると思いますが、高齢者が多いところでは、班長やゴミ清掃の当番を引き受けてもらえない為、維持が大変になってき

てる地区もあります。

条例では、町民の責務として、町の施策に協力しなければならぬことに理解はしますが、高齢化が進む中で、町内会によるゴミ箱の管理が出来なくなる事も予想され、近隣の自治体のように個別収集も考えられるが、町として今後どのように取り組む考えがあるのかお伺いします。

町長答弁

法律に基づき、大間町廃棄物の処理及び清掃に関する条例に定める廃棄物の適正な処理の為、大間町ゴミ収集所設置要綱を定め、基本的には各町内会からの要望として、これに

よりがたい場合には一定の条例を定め、例外的にゴミ箱収集所の設置を認め、その管理につきましても、町内会、若しくは設置者で行うことにしているところでございますが、分別の不十分な物、指定ゴミ袋に入っていない等、委託業者から報告を受けております。

ゴミ収集所の管理につきましても、高齢者の多い箇所ではご苦労もあることと思えますが、町の施策を実施するためには、自助・公助・共助の関係がなければならぬ、近隣では、佐井村が一部個別収集を実施しているが、当町は比べて世帯数が多い為、課題が大きいと感じます。町としては、町民皆様にご協力頂き効率的な廃棄物処理、ゴミの減量、収集所の管理等、広く町民に周知してまいります。

再質問

引き続き町内会で維持管理するという感じでしたが、現段階では理解します。しかし、これからは年々難しくなってくると思っております。現在、ゴミの収集は指定管理の委託で行われてますが、委託業者者に収集の際、清掃の必要があった場合お願いできないでしょうか。

町長答弁

私も町内会員でありまして、当番制で鍵の開閉、掃除、高齢者が増え大変なものも理解している。歩けるとか体が不自由でなければお願ひされて協力している現状も知っています。アパートに入っている方とかで夜勤、勤務時間の関係で大変だとも聞いています。班で考慮して、飛ばしてやるのか各班で協力し合いながらやる事が適切だと感じております。町が考

えるのは、まだ先かと思っております。

再質問

委託事業者のほうにお願いできないかとの回答については。

町長答弁

委託事業者へ頼めばお金も絡むので財政状況等をみながら検討課題と思う。

再質問

委託事業者からゴミ箱の汚れ具合の報告とどの程度でしたか。

住民福祉課長答弁

これまでの平均ですと年に多くても三件ぐらい業者、収集所の担当から連絡いただいています。その際、住民福祉課のほうで確認し処理しております。

再質問

年に三件程度なら収集の際、一緒に掃除してもらおうのに収集業務に支障はでないかと思いますが。

町長答弁

その辺の確認をして

なかったもので、これから業者とまたそういう話も検討しなければと感じます。

再質問

まずはどの程度汚れるかなどしっかりと調査していただきたい。

町長答弁

現段階は役場に電話で来る件数なので、今後調査し課題にしてもraitaitaiと思えます。皆さんで協力し合っで、何でもかんでもお金を出せばやれるっていうのは、あまりよくないなど私の認識ですけども、出来る事は町内でやってほしいというのが私の考えです。

再

現状では難しいとのことだと思いますので、各地区の方々と相談し、再度お願いするかと思いますのでよろしくお願ひします。



吉田 安男 議員
質問時間 30分

奥戸小学校の今後の学校運営について

全国的に少子化が進む中で、奥戸小学校の児童数を見ますと、本年4月1日の見込み児童数は、全校で20名となっており、そのうち一年生・三年生の児童は6名となっております。このような状況の中で、町長又は、教育委員会の今後の学校運営の考え方についてお伺いします。

教育長答弁

今後の学校運営でありませんが、現在は、全校児童22名うち一・三年生までは7名在籍しています。完全複式学級の小規模校でありますが、奥戸地区唯一の学校として小規模学校として複式学級の良さや特性をいかしていた、きめ細かな学校運営をしているところでもあります。令和5年度の学習状況調査結果に於いても、下北郡の平均よりも高い学科が数箇所あり、学習の成果が顕著に表れています。今後とも入学者数を注視しながら、地域と共に歩む学校運営を進めたいと思っています。

再質問

確かに複式学級で児童数も少ないことから、先生方が勉強を教えるには少な

い児童の方がよろしいかと思えます。勉強に励み頭の良い子はたくさんいると思います。が、私の言いたい事は、学校は勉強ばかりではなくこれから中学校・高校といくにつれて、集団生活が厳しくなろうかと思えます。クラブ活動、体力の向上等を考えた時に統合という言葉は適切であるかどうか分かりませんが、今後の在り方を考えておかなければならないと思いますが、再度、答弁をお願いします。

教育長答弁

今現在、野球部等の団体競技も支障なく行なっています。確かに人数が少ない現状は続きます。調べて見ますと、来年は3名の入学者を予定しています。その後は5年間で1名、多い時で5名程の入学者予定者となっておりますが、基本的には地域とともに運動会、自然体験とか色々行事を行なっており、現状のままで、うまく行っているように私は思っています。これからは基本的にはその方向で進めて行きたいと思っています。ただ、今後、児童数が少なくなった時の事を考えながら進めて参りたいと思います。

再質問

町長は、財政健全化を公

約としていますが、この度、各小中学校にクーラーが設置となることから多額の財政が伴う。また、来年度予算を見ますと基金がかなり減つて来ている。このような状況の中で、町民は財政健全化というものはどのように考えているのかお聞きしたい。

町長答弁

私の公約である財政健全化については、なかなかそのよううまくいかないというのが実感です。ただ、核燃料交付金が良い方向に進んでいることから、財政健全化につながるのではないかと考えている。

再質問

教育長に再度お聞きします。現段階では統合を考えていないと言ったことですが、その時期に来て慌てたためにいないよう、そのような考えをもつて今後、教育行政を賄っていかなければと思うのですが、もう一回お聞きします。

教育長答弁

慌ててやるのではなく、ご意見を賜りながら、慎重に色んな事を考えながら進めて行きたいと思えます。

旧奥戸中学校の跡地利用について

中学校統合以来、奥戸地区出身の生徒たちは、勉学に部活動にと励んでおり、将来期待のある生徒が多くなると伺っております。さて、旧奥戸中学校跡地の利用をどうするか伺います。

町長答弁

現在、体育館には、段ボールベット等の災害用備蓄品の保管場所として使用している。私の考えとしては、教室等については、貸事務所などに必要な事業者に貸

し出しを考えている。グラウンドは、ソーラーパネルを設置し、発電された電気を町民に還元する事も一つの手段だと考えている。今後知恵を出し合って有効活用を図っていきたくと考えています。

再質問

貸事務所として入る企業が大間町の中ほどの位あるのか、あの大きな建物が有効に利用されるのか、考えをお聞きしたい。

町長答弁

現在、活発に事業をしている太陽光発電事業者、風力発電事業者に呼びかけたかどうかは検討中である。また、横浜町でも行なっている町広報での呼びかけも考えてみたい。

再質問

何事でもそうであるが、新しいものを建ててから、旧建物の処置を考えていく。新しい物を建てる計画と同時に旧建物をどうするか、同時に考えていかなければと思うが？

町長答弁

まったくその通りであります。最初の考えは、給食センターをそこで行なったらどうかという考えもありました。ただし、基本構想を見たら金額的には、大間小学校の裏側に増設するのと変わらないとのことでありました。また、大間小学校に併設することで、他学校への配送も少なく済むと考えました。奥戸中学校跡地は今、質問がありましたので、活用しなければ老朽化が激しくなることから早く進めて参りたいと考えています。

町長の今後の政治施策と政治運営について

町長は、笑顔満開のまちづくりを目指す政策を掲げ当選

されました。立候補にあつたの公約の達成率は、現在何%と伺っていますか。また、これからも目指す施策があるのか。あるとするならば、その実現のために次期町長に出馬の意向があるのか。今の気持ちをお伺いしたいと思います。

町長答弁

私は、令和3年1月に就任しコロナワクチン接種が始まる年で計画を作成し実施をスタートさせました。スピード感をもって町の接種を終えることが出来ました。また、フェリー運航の指定管理も終え、令和6年4月から5年間の継続が決まる予定となっております。更には、大間高校の学級数の減、更には廃校もありえる状況も考えられる事から全国募集を開始し、現在1人の応募者がありました。建設工事関係では、消防庁舎・健康福祉センターの実施設設計から取り組み、事業費の軽減に努め、両施設とも令和6年度運用開始に取り組みすることが出来ました。就任して公約以外でやらなければならぬ課題、事業があつた事から公約の何%実施と言う事を示せない状況にあります。学校給食の実施に向けては、基本計画を作成し、令和7年度実施計画、令和8年度建設工事、令和9年度運用開始を予定しており、取り進むスタートが出来たと思っております。大函丸の恒久的な運航、5年ほどどうして存続できるのか。大間高校の問題点、町づくりのためのインフラ整備等々の課題が残されています。このような事から2期目に向けて、今後目指す施策を検討し、出馬意向をこの場をお借りして皆様にお伝えした

いと思っています。

再質問

町長は立候補にあつたって、色々な事をやりたいと言っていました。その達成率を聞いています。その中で、確かに、町長が変われば、前町長の計画したものを実施していくと言っているものもあり、時間を要するわけですが、自分の公約の達成率を言えないと言っている事に遺憾に思っています。それから、今後、実施したい施策がありましたら申し述べて下さい。

町長答弁

この場では、なかなか細かい政策は言えませんが、災害が増える中で大事な事は、インフラ整備が大事な事ではないかと考えています。財政健全化も考えておりますが、なかなか思うように行かなかつたので、今後は大きな工事も考えられないと思えますので事業が出て来たら、国・県の補助事業を充分に活用して進めて参りたいと思えます。具体的な施策は、今後、決起集会なるものを立ち上げて、その場で言いたいと思っています。

再

確かに一期目は、前町長の施策を引継ぐものもあるだろうし、そのためには多くの時間を要するものもあると思えます。自分のカラーを出せない部分も多々あると思えます。今の答弁で次期町長選挙に出馬の意向もあるようです。出馬の際には、自分の計画しているものについては、是非とも達成できるように頑張っていたきたいと思います。



傳法 正広 議員
質問時間 40分

大間高等学校全国募集と今後の学校規模について

令和6年度から大間高等学校では、全国からの生徒募集導入校となり、青森県や大間高等学校、大間町教育委員会のホームページを探っても情報入手は困難で支援制度詳細は、「進学希望先所在市町村へ問い合わせを」とのことです。どのような対応をされているのか？

町長答弁 全国募集は、一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォームが運営する地域みらい留学へ県教育委員会が参画しており、希望する中学生を対象にオンライン説明会や対面式個別説明会で学校の魅力や居住等の支援内容を説明している。

再質問 過日6月6日開催の議員全員協議会では、管理・身元引受人・住宅維持の関係が詳細な状態でありませんでした。また、4月を迎えます。どのようなスケジュールで進めるのか？

教育課長答弁 協議は継続中ですが、以後、数回の会議で来年度の予算等の確認をしている。教育振興会でその事業を進めており、詳細に至つ

ていませが3月末までには、受け入れ態勢を確実にします。

再質問 3カ町村は、負担割合が必至と思います。財政負担を確保することが大事です。覚書や協定書などでの対応をすべきものと思われませんか？

教育課長答弁 経費は当初から教育振興会で進めており、負担割合も従前のとおり議員が述べるとおり、大間町2分の1、両村が4分の1ずつで進めています。ただし、覚書等は両村と協議のうえ、整理していきたい。

再質問 管理者は生徒が高校生活を有意義かつ社会人として送り出すことが責務です。危惧されることは、ご両親に代わっていつでも見守りができる体制の構築です。夜間・休日の過ごし方に不安があります。勉強以外に友人との交流も大事です。管理者の下で手が届かない場合、非行行為などに考慮が必要のどのような体制をお考えなのか？

教育課長答弁 地域おこし協力隊でのハウスマスター等の募集も視野に入れますが、現段階では体制ができてません。管理体制は、大間高等学校の協力のもと先生や教育委員

員会職員で緊急時の連絡体制も含め内容を協議のうえ対応したい。

再質問 町が管理する居住住宅支援策で、町側の責務で訴訟など求められない管理体制は重要ですか。町長の考え方は？

町長答弁 地域校4町村での前例を見まして、そういう体制は作っていない。

再質問 去る2月20日に発表された、令和6年度の大間高等学校の募集人員は70名で、出願者数は42名でした。地域校での2学級規模条件は満たされたものと期待されます。大間高等学校が今後どのような姿で学校規模を維持することが望ましいとお考えですか？

町長答弁 地域校4校のうち2学級規模維持は大間高等学校だけで、可能な限り2学級の規模維持に支援したい。今後も全国からの生徒募集を継続し、北通りの子どもから進学先として選択され、恒久的に大間高等学校が存続できるように、3カ町村一体となつて支援に努めます。

再質問 今年の中学卒業生は、大間町50名、風間浦村8名、佐井村14名で、北通りの3カ町村では72名です。私の調べでは、過去3年間の平均で北通り3カ町村の中学生で大間高等学校への進学率は、大間町64.73%、風間浦村35.6%、佐井村35.4%です。8年後に中学校卒業を迎える現小学校1年生の児童数は、大間町32名、風間浦村3名、佐井村9名で3カ町村では42名。今年の卒業生の6割程度になります。

大間高等学校への3カ町村の平均進学率から大間町21名、風間浦村1名、佐井村3名で3カ町村で25名と見込まれます。全国からの生徒募集者の受け入れを令和7年度11名、令和8年度8名、令和9年度9名を想定しなければ2学級規模は維持できないことが確かです。町長は、可能な限りという表現で説明されています。その可能な限りとは、どのような物差しで判断をされるのか？

町長答弁 令和6年度から大間人数が少なくなり、52名しか北通りはいません。先程のパーセンテージからいけば、かなりの人数が大間高校に入らないと、必ず40人以下になるのは分かっている範囲です。2学級はできれば9年度までは維持したい。最悪1学級は見えておりません。ただ、無くすることはできないので、廃校や統合にならないようにしたい。

再質問 無くないことはもちろんです。私が危惧するのは、何が何でも2学級の規模とすると、全国募集の生徒を募らなければなく住宅提供など大きな影響を受けます。町の政策、施策として打ち出したものの体制が追いつきません。早めの決断は必要かと思えますが？

町長答弁 県の第2期教育計画が令和9年度までなので、9年までは2学級を維持することを目標としたい。

再質問 厳しい条件下ですが、適切な判断で町の財政負担が多く伴わない施策を講じていただきたい。

高校生を対象とした支援策について

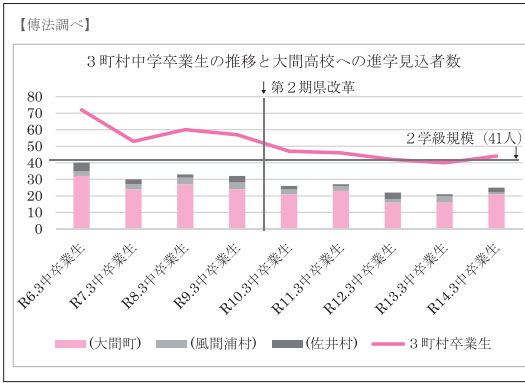
国では、少子化対策で児童手当の拡充などが閣議決定さ

れていますが、大間町では独自の高校生または保護者への支援策のお考えはないのか？

町長答弁 令和6年度より高校生18歳までを対象として、医療費無償化を実施します。また、中学校等入学祝い金に続き、高等学校入学祝い金も検討したい。また、将来構想で高校の学校給食の提供を考えております。財政状況をみながら新たな支援策を検討したい。

再質問 高等学校等の入学祝い金の検討ですが、小学校等入学祝い金等の支給要領の規定により、支給する根拠の変更は容易に可能と推測します。今後の財源を精査した中で、今年度中にも補正対応で早期に実現するお考えはないか？

町長答弁 核燃税交付金が県から示されて、大体1.5倍ぐらい増になります。それを目的に財政計画(財政シミュレーション)をやりたい。来年から是非、実現していきたい。



大間高校への進学率(3ヶ年平均)

| 町 | 進学率 |
|------|-------|
| 大間町 | 64.73 |
| 風間浦村 | 35.6 |
| 佐井村 | 35.4 |



山崎 一利 議員
質問時間 30分

**0歳児から3歳未満児の
保育料無償化は!!**

大間町では少子化対策による大間町子ども・子育て支援事業の経済支援に係わる関連事業で、3歳以上の保育園児で副食費負担が生じる家庭については、諸経費のみを納付するとした事業が行われている。

また、子宝祝い金として、出生時に子ども一人当たり10万円の給付事業が行われている。町長は、入学祝い金として、小学校入学児童一人当たり10万円の給付事業を令和6年度から中学校入学児童まで拡充した給付事業を行っていくとのことであり、子育て応援医療費給付事業では、0歳

から中学校卒業までの児童・生徒の医療費無償化を令和6年度から18歳まで拡充した事業を行っていくとのことである。

これらの各事業に関しては、今後さらなる充実した事業展開を期待するものである。

しかしながら、0歳児から3歳未満児の保育料無償化については、残念ながら方針が示されていない。

このことから、大間町における保育料無償化に対する考えをお聞きする。

**令和7年4月から
保育料無償化とする!!**

町長答弁 3歳児未満の保育料徴収額は、令和4年度が、752万3,000円、令和

5年度の見込が、781万9,000円でこれを無償化すると町の財政負担が大きくなるため着手していないが、継続して充てられる財源の目的がたてば検討していきたいと考えている。

再質問 町長は、6年度当初予算編成において、中学校入学祝い金、18歳までの医療費無償化の拡充を進めるにあたって、保育料無償化は考えなかったのか。

町長答弁 財源が見込まれたら、実施しようという段階であったが、給食無料化に向けて県の事業において、子育て支援にも使えるということとなったので、補正で予算を組むか来年度当初で予算を組むかということで考えている。

再質問 令和3年の議案審議の際、保育料無償化について、住民福祉課長は、認定こども園の移行時に合わせ、さらに町の負担、財政等の協議が必要に

なるのでいま検討中であるとの答弁をしたが、町長は、認定こども園の移行時に合わせてとの考えはどうか。

町長答弁 それで実現する。
再質問 来年の認定こども園の移行に合わせて、保育料無償化は実現するということが、
町長答弁 財源的に見通しが見込まれることが確認されたら、7年度から実施したい。

再質問 財源の見通しがつけばとのことだが、青森県核燃料物質等取扱税の交付金が、6年度から1億5,000万円増額されるということと聞いてい

る。この増額される一部を保育料無償化の財源として、継続した予算編成に取り組んでいくものと考えている。

町長答弁 この財源を充当し、子育て世帯に対するさらなる経済支援対策として、保育料無償化に向けて取り組むべきではないか。

町長答弁 保育料無償化については、その財源を充当してやって

いきたいという考えである。

再質問 保育料無償化に取り組んでいくんだという決断をするのであれば、令和6年4月からでも取り組めるものと認識するが、その考えはないのか。

町長答弁 令和7年度から実施していきたい。
再質問 6年度の途中でもそういう考えはないということか。

町長答弁 きちんと計画を立ててやりたいと思っているので、7年度から考えている。

再質問 財源が見えていることなので、4月から無償化をやっていくという言葉をもらえればありがたかった。

町長答弁 きちんとした財政シミュレーションを立てて、計画的に事業を進めていきたいので、令和7年度からは保育料無償化はやる。

再質問 令和7年度から実施するというこ

との言葉をいただいたが、人的支援、いわゆる子育てをしていくうえでの悩みごと相談窓口として、乳児から3歳児までを対象とした健診、育児相談・離乳食教室を行っているハローベビールーム、就学に向けての5歳児健康相談、子育て世代包括支援センター及び子ども家庭総合支援拠点事業等々、今後も子育て世帯からの悩みごと相談窓口として、さらに寄り添った充実した内容の事業を継続していただきたい。

町長答弁 子育て支援事業が拡大することが見えているので、それらを活用して子ども子育て支援に保護者にサービスをきちんとできるようにしていきたいと思っている。

再 大変厳しい財政の中であるとは思いますが、行政運営における事業推進は、町長の決断力・やる気の問題だと思っている。

今後より一層充実した事業展開をしていただきたい。

全員協議会

〔令和6年2月6日〕

案件

一、大間町健康福祉センター「スマイリー」設置トレーニング機器の運用について

・現在建設中の健康福祉センターに設置されるトレーニング機器及び運営・指導管理について、先例地であるむつ市「ウェルネスパーク」を大間町の参考としたく視察研修を実施した。研修後に議員各々から出た疑問点・問題点などについて、町から説明があった。その概要は、

- ①設置するトレーニング機器の種類は？
- ②インストラクターの配置は？
- ③使用料。ケガなどの保険は？などその他意見・質問があり、〔町の回答〕は、後日開館までに、広報等で、町民の方々にお知らせするとの回答があった。

〔令和6年2月28日〕

案件

一、町立小・中学校工アコン設置事業について

（概要）

・昨今の温暖化にともない、自動・生徒が快適な場所での勉強に励むとともに、体調管理にも努めるため町立小・中学校にエアコンを設置する。

①設置台数

・管内3校で24台

②概算予算額

・6,662万7千円

③今後のスケジュール（予定）

・3月補正予算

・3月25日頃実施設計完了

・4月下旬頃入札

・5月～8月工期

二、（仮称）大間町学校給食センターに係る今後のスケジュール（予定）

・令和6年度補助事業申請準備・関係機関との調整

・令和7年度実施計画策定

・令和8年度着工、完成予定

・令和9年度供用開始給食提供予定

三、「大間・函館航路フェリー大函丸」の指定管理について

・令和6年3月31日をもって先の指定期間が満了となることから令和6年4月～11年3月までの5年間を大間町条例第5条第1項の規定に基づき、津軽海峡フェリー（株）に再指定する。

・再指定の目的及び期待できる要点として、津軽海峡フェリー（株）は航路事業の許可を取得していること又、既存のターミナルを使用できることから、効果的な運航が期待できる。

・指定管理料は、各年度1億5,000万円（町5,000万円・県7,500万円・むつ市、東通村、風間浦、佐井村4市村で2,500万円）とし、消費税は大間町が負担することで合意した。

※大間町に於ける特典としては、病院に入院引きはこれまでと同様であるが、全町民に対する割引きについても交渉中であり3月中には良い結果が期待される。

四、大間町健康福祉センター指定管理料等について

・指定管理者（大間町社会福祉協議会）については、前回お知らせしておりましたが指定管理料については概ね纏まったのでお知らせします。管理料は、5年間各年度3,564万9千円（予定）となる見込みです。

・開館予定日は4月11日の予定であり、後日広報等で周知する予定です。

五、大間町墓園（第一墓園）整備について

（概要）

・現在の墓園は凹凸で段差が激しく、又、水捌けも悪く、特に高齢者のお墓参りには非常に支障をきたしている状況にある。

・整備の今後のスケジュールについて

は、令和6年度で実施設計し、その後、実施工事に入ること

を予定として計画している。

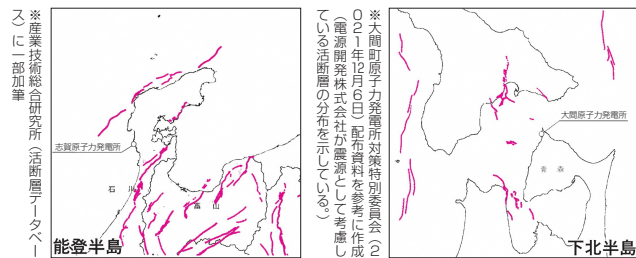
特別委員会

〔大間原子力発電所対策特別委員会〕

案件

一、能登半島地震について

能登半島及び下北半島周辺における活断層分布



今回は2年後の工事再開予定を遵守してほしいと希望するものである。

三、令和6年度工事の概要について

・新規制基準の影響を受けない範囲内で主建屋の建築工事等を行います。

・工事内容は、陸上工事（本体工事）・周辺工事・海上工事・港湾作業となつてい

る。作業時間は、陸上工事（日の出～22時）、海上工事（日の出～日没）までを原則とします。

四、建設・運転差止等請求訴訟の審理状況について

・住民訴訟の審理状況は3月12日に第11回口頭弁論が開催さ

れ、第12回口頭弁論は令和6年7月9日

に予定されている。

・函館市の訴訟審理状況は、2月26日に第31回口頭弁論が開催

され、第32回口頭弁論は令和7年2月26

日に予定されている。

二、新規制基準適合性審査の対応状況について

・原子力規制委員会における審査状況は、3月1日時点で62回目であるが、先に、

本工事再開の目的を2年延長されたが、

議会のうごき

令和6年1月～4月

1月

- 26日 例月出納検査（議会選出監査委員）
- 29日 議会運営委員会
- 29日 第1回大間町議会臨時会開会
- 31日～2月2日
大間原発三ヶ町村協議会国要望（東京都・議長及び大間原発対策特別委員会委員長並びに事務局長）

2月

- 6日 議会議員全員協議会
- 17日 大間町青少年健全育成推進大会
- 22日 令和6年能登半島地震に係る見舞金送金（議員1万円×10人＝10万円・送金先「石川県町村議会議長会」）
- 25日 下北郡町村議会議長会定期総会（青森市・議長及び事務局）
- 26日 青森県町村議会議長会定期総会（青森市・議長及び事務局）
- 27日 例月出納検査（議会選出監査委員）
- 28日 議会議員全員協議会
大間・函館フェリー航路対策特別委員会

3月

- 1日 大間高等学校卒業証書授与式
- 6日 議会運営委員会
- 7日 第1回大間町議会定例会開会
大間原子力発電所対策特別委員会
- 8日 議会運営委員会
- 11日 総務教育常任委員会及び産業建設常任委員会
- 12日 大間中学校卒業証書授与式
- 13日 一般質問・議案審議
議会広報編集委員会

- 14日 議案審議
- 15日 議案審議
第1回大間町議会定例会閉会
- 22日 奥戸小学校卒業証書授与式
- 23日 大間小学校卒業証書授与式
- 25日～26日
津軽海峡フェリー株式会社との打ち合わせ（函館市・議長及び大間・函館フェリー航路対策特別委員会委員長並びに事務局長）
- 26日 大間幼稚園修了証書授与式
- 27日 例月出納検査（議会選出監査委員）
- 28日～30日
大間町議会議員視察研修（鹿児島県・「鶴田ダム・川内川第一水力発電所視察」「川内原子力発電所視察」・議員及び事務局）

4月

- 5日 下北半島振興促進連絡協議会総会及び下北総合開発期成同盟会（むつ市・議長及び事務局）
- 8日 奥戸小学校入学式
大間小学校入学式
大間中学校入学式
大間高等学校入学式
- 9日 大間幼稚園入園式
- 11日 大間町健康福祉センター開館式
- 15日～17日
全国原子力発電所立地議会サミットAブロック事務局長会議（東京都・事務局長）
- 16日 大間町観光協会通常総会
- 18日 各種委員会合同会議
- 19日 春季広報行事大湊春の集い（むつ市・議長）
- 24日 議会広報編集委員会
大間町教職員交流会

寄付金について

2月22日 能登半島地震の見舞金として大間町議会から 議員1人につき1万円
合計10万円を石川県町村議会議長会へ送金致しました。
被災された皆様の復興を心よりお祈り申し上げます。

大間町議会 一同

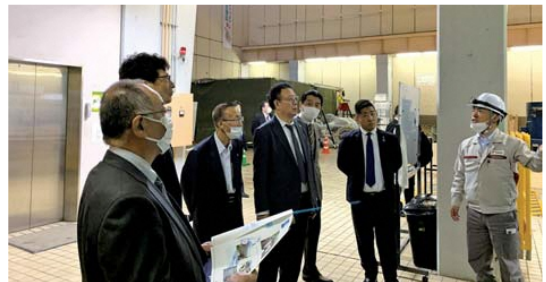
大間町議会の出来事



視察

川内原子力発電所・鶴田ダム川内川第一水力発電所

3月28日～3月30日 鹿児島県 薩摩川内市・薩摩郡さつま町



鹿児島県薩摩川内市にある全国で唯一稼働している原子力発電所川内原子力発電所を視察 発電所の概要・安全対策の実施状況・運転延長許可について説明を受け意見を交換した。同県にあるJ-POWER南九州電力所 鶴田ダム川内川第一水力発電所の視察を行った。



経済産業省にて＝2月1日

要望活動

大間原発三ヶ町村協議会は、経済産業省に『エネルギー政策・原子力政策の推進』『電源開発株式会社大間原子力発電所の早期工事再開』『防災避難道路の整備促進』国土交通省に、『防災避難道路の整備促進』の要望書を提出した。

編集後記

令和6年3月場所所
で、五所川原市出身の
尊富士が、110年ぶ
りに新入幕初優勝しま
した。

久々の県出身力士の
幕内優勝に、感動しま
した。

今後も我が町出身の
海真を含む県出身力士
の活躍を期待していま
す。

町民の皆様には、広
報編集委員会委員長と
して、見やすい・読み
やすい・わかりやすい
議会だよりを委員一同
で、作成していきます。

記【堺】
議会広報編集委員

委員長

堺 祐介

副委員長

堺 厚史

委員

傅 法正

吉 田 安男

山 崎 一利

佐々木 信彦